

継続的な事業に、地元も、行政も「商店街のやる気」を応援

## 身 延 町 商 工 会

機関名	身延町商工会		
所在地	山梨県南巨摩郡身延町梅平 2 4 8 3 - 7 3		
電話番号	0 5 5 6 6 - 2 - 1 1 0 3		
地域概要	(1)管内人口 8 千人	(2)管内商店街数 3 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 3 商店街	(2)会員数 1 1 1 商店	
	(3)空店舗率 0 . 1 %	(4)大型店空き店舗 0 店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街 身延山を控えた門内商店街（お土産が多い）		

### 【事業名と実施年度】

平成 12 年度 活性化対策事業 情報提供事業、ホームページ開設、イベント  
 総事業費 7,628 千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

山梨県身延町の商店街は、身延山久遠寺の門前町として栄えてきた「門内商店街」並びに、平成 9 年に新しく生まれ変わった「身延駅前しょうにん通り商店街」、また、双方の商店街の中間で、街の中心に位置する「梅平商店街」の 3 商店街に大きく分かれる。

身延町は日蓮宗総本山の身延山久遠寺を有し、参拝者等の年間来町者は 180 万人とも 200 万人とも言われているが、モータリゼーションの進展等から商店街を訪れる人の数は年々減少しているのが現状である。

こうした中で、身延町商工会は各商店街の特性並びに街の観光資源等を活かしながら、来町者がゆとりと憩いの雰囲気を楽しめ、のんびりと滞在・回遊できる街づくり・商店街づくりの形成を推進するため、平成 10、11 年度と商店街活性化モデル事業を実施してきた。

平成 12 年度においては、引き続きこの事業をより定着させ発展的に継続させることにより商店街の活性化を図った。



## 2. 事業内容

### (1) 情報提供事業

空き地等を活用した情報提供館兼無料休憩所を引き続き設置し、インターネット、案内板等を活用して商店街情報及び観光情報を提供するとともに、パソコンによるインターネット教室の開催や、「パラソル市」を開設し、近隣でとれた野菜の即売会や商店街で取り扱う商品の販売を行った。

また、情報提供館のスペースを活用し、ミニギャラリーを開催した。

#### 1) 門内商店街『ぶっぼうそう』

身延山久遠寺への参拝者は比較的高齢者が多い。しかしながら商店街には休憩所や商店街情報提供の場所が無く、参拝者に商店街をゆったり回遊してもらったり、身延町を深く理解してもらおう場所がない。

そこで、商店街の中心にある仲町駐車場に仮設建物(ぶっぼうそう)を設置し、簡単に操作できるタッチパネル方式のパソコンを利用して商店街情報、各店舗のホームページ、イベント情報、宿泊情報、各寺院等の町内、あるいは各周辺市町村の観光情報を提供するとともに、一般住民に対しても行政、福祉等の総合的な情報提供を行った。



ぶっぼうそうの外観

#### 2) 身延駅前しょうにん通り商店街『しょうにん庵』

身延橋東詰め空き地に仮設建物を設置し、簡単に操作できるタッチパネル方式のパソコンを利用して商店街情報、各店舗のホームページ、イベント情報、宿泊情報、各寺院等の町内、あるいは各周辺市町村の観光情報を提供するとともに、無料休憩所(しょうにん庵)を兼ねたギャラリー(民話資料館、商店街今昔物語)を併設し、来町者への情報提供等のサービスを行った。

また、一般住民に対しても行政、福祉等の総合情報提供を行った。



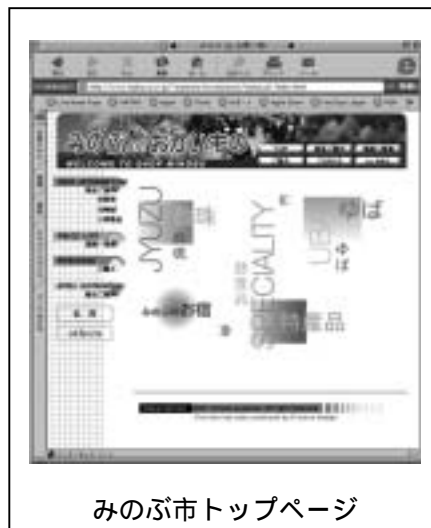
しょうにん庵の外観



しょうにん庵の内部

(2) 「楽市 みのぶ市」開設事業

平成11年度に導入したパソコンを活用し、インターネット仮想市場を開設し、各個店の既存の消費プラス町外へ向けた新たな商取引を図り、商店街全体の活性化を図った。



みのぶ市トップページ

(3) 商店街イメージアップ事業

1) 門内商店街

総門から身延山久遠寺までの間は地形的に傾斜地であり、また、門前町という独特の雰囲気を持っている。

この雰囲気を活かし、ユニークさや話題性が高い「籠」を設置し、商店街のイメージアップを図り、籠駅伝大会等のイベントを実施した。

2) 身延駅前しょうにん通り商店街

美しく整備された街並みをなお一層魅力あるものとし、ゆとりと話題性をもたせるため、土日祝祭日を中心に、通りに人力車を走らせ街並みにあった時代に雰囲気を演出した。

また、今後身延の特性に合わせた事業の展開と今後の商店街のイベント等で積極的な展開を図った。

人力車の運行については、有料制度を導入しその収入により運行経費、維持管理費の確保を図った。



町並み演出に人力車も登場

3) レンタル自転車

身延駅前しょうにん通り商店街～梅平商店街～門内商店街等、各商店街への回遊性を持たせるため両端の商店街に電動レンタル自転車を設置し、本事業で作成する回遊マップの利用による滞在・回遊型のシステムを構築した。

(4) 商店街回遊事業

1) 商店街回遊マップ作成事業

3商店街の回遊性を高め、また、各個店の情報やインターネット仮想市場等を紹介したマップを作成した。

2) 商店街回遊誘導サイン設置事業

情報提供館、また、他の商店街への誘導を図るため誘導サインを設置した。

(5) 委員会の開催事業

委員会を2回開催、その他必要に応じて商店街ごとに打合せ会を開催した。



散策マップで町中を案内



しょうにん通りの街区案内板

## 【 効 果 】

### ( 1 ) 商業者の意識向上につながった

駅前しょうにん通り商店街では「しょうにん庵」の管理を交代で行うなど、自分たちのための事業という意欲的な取り組みが見られ、平成12年の冬には自発的にイルミネーションを飾るなど、積極性がでてきた。

### ( 2 ) 来街者へのサービスが向上した

案内誘導サインや事業内容の看板設置などによって、休憩所兼情報提供館の場所や内容が来街者にわかりやすくなった。

### ( 3 ) ホームページ発信やマスコミ報道などにより知名度が高まった

身延町のビッグイベント「身延山の桜」の時期に、開花情報をホームページで紹介するなどして、商店街・商工会などにかなり問い合わせがあったほか、ホームページを見て飲食店に来店するケースも見られた。また、梅平商店街への休憩所設置などについては新聞報道もあり、知名度が高まった。

### ( 4 ) 身延町を客観的な観点から見る機会があり、今後の街づくりに活かすことができた。東京の専門学校生が宿泊合宿し「久遠寺の地形を活用して学生スポーツ団体の合宿に力を入れる」「JR身延線の電車の本数が少ないため、長い待ち時間を利用した30分街めぐりマップの作成」など若者の意見が提案され、今後の街づくりの参考になった。

いくつかの事業を継続して実施していくことで、他町村もそうであるが、地元消費者、行政からも身延町の商店街はいろいろ頑張っているとの声をいただき、商店街自身も「景気はそんなによくないが出来る事からしていこう」という気持ちになってきた。

さくらカード（ポイントカード）、ゴミ処理機の導入も重なり、商店街にとって前をみでの事業であった。

行政も事業を認めて、13年、14年も事業が継続している。



## 【課題・反省点】

### (1) 人力車・レンタサイクルの事業の利用者減

人力車・レンタサイクルの事業の利用者は平成11年度より減少している。また、人力車は土、日を中心に身延駅から商店街を回遊しているが車夫をどうしていくか、商店街の人が交代で引き、直接来街者と接するのが望ましいが、各商店とも自分の商売に本人が係わっているためアルバイトの利用が必要となっている。これらの点を踏まえて、今後事業の再構築を検討する必要がある。

### (2) 商業者個々の努力が必要

最後に商店街全体のイベントにプラスして、各商店がいかに個性のある販売戦略を展開できるか、このことが商店街に人を呼びこむ最も大事なことと思われる。全体で実施するイベント等のソフト事業は限りがあり、あくまでもサブ的存在であり、商店街の店主一人一人が改革の意思を持って商店街活動を続けていけるかが課題である。

### (3) 東京との連携がカギ

東京の専門学校や東京青年協力隊を中心とした首都圏方面との交流やPRを続けていくには商店街と事務局、東京の学生たちとの連携をどうしていくかが課題である。

## 【教訓】

本事業を実施するには、事業準備前の会議等を綿密に行うことと、継続していくことが大事である。身延町においては、10、11、12年度と継続して事業を行ったことで行政や地元住民、小学校までが事業の内容を理解していただいた。そのことから、13、14年と継続して事業が実施してきた。今後も事業が継続していくと思われる。またこの事業によって、次の新

たな事業展開を考える要素となり、商品券発行や、商店街イメージアップのための事業など毎年多種多様な事業が実施されている。

現在の商業環境は決して楽なものではないが、地域と商店街そして事務局が一体となり消費者にとって魅力ある商店街づくりを進めていくことが、地域の活性化につながっていく。

【 関 連 U R L 】

身延町商工会 <http://www.fujikawa.or.jp>

【 そ の 他 】

本事業のように、商店街活動におけるソフト事業を支援する補助金は商店街にとって魅力のあるものであるとともに、国が小さな商店街や商店に目を向けてくれたことは、こうした商店街とともに歩んできた商工会にとってもありがたいことである。今後も補助金が継続することを望む。